

戦後詩が拓いた突端のリアリズムの旗手

長谷川龍生、

その詩と方法

主催 2019長谷川龍生追悼シンポジウム実行委員会  
共催 神戸女子大/思潮社

〈歌と逆に、歌に。〉音楽的思考から絵画的思考へ、物質界の客観的描写のうちに覚めた批判精神をしのばせて、音楽的思考から絵画的思考へとユニークな小野十三郎のリアリズム詩論を、戦争直後の戦後的風土にあつて、若き長谷川龍生はさらにムービーなアクションの領域へ、緊張と屈折、断絶、飛翔の連続へと発展せしめた。

「人間の内部にたえずおこる思考や、感情をふくめての、いっさいの現実の否定のひそかなる方法は、外部に現われて出るアクションの律動と同じように、ほんの一秒にもたりない時間のうちに、おそろしい速度で経過する。なかなかそのスピードをもった真実は見ることができない。しかしその一秒の体験をとらえるためには、ながい時間をかけて、断片的に馴らされた人間の意識をアクションの律動に乗せる必要が生れてくる。ここにおいて終止符をうちつける思考の感覚と操作はなくなる。」

と、これは1950年22歳の龍生が書いた未完の詩論『移動と転換』の導入部である。

この8月、91歳でこの世を完了した龍生の言語生活を偲んでここにささやかな偲ぶ会を開催します。

2019年12月21日(土)

神戸女子大学教育センター5F 特別講堂

受付 13:00～  
開会 13:30～ 基調報告 倉橋健一  
パネルディスカッション 14:00～  
追悼詩or自作詩献詩朗読 16:30～  
懇親会 18:00～

パネラー 細見和之 たかとう匡子  
中塚鞠子 山田兼士  
司会 今野和代

神戸市中央区中山手通り2-23-1

JR「三ノ宮駅」、阪神・阪急「神戸三宮駅」西口より  
生田神社西の道を北方向(山側)に徒歩約8分

■参加費 2000円(含資料代) ■懇親会費 4000円  
(参加費・懇親会費は当日受付でお支払い下さい)

▶問い合わせ先・申し込み先

倉橋健一 560-0085 豊中市上新田1-24G504 TEL・FAX 06-6834-6969  
今野和代 564-0073 吹田市山手町4-14-18 TEL 090-1149-4042 FAX 06-6338-5796  
今西富幸 Eメール imatomi8@gmail.com

参加申込書

☆シンポジウムの懇親会にも1参加します 2参加しません 3未定(以下○で囲んでください)

★追悼詩or自作詩を長谷川龍生に捧げる 1朗読します 2朗読しません

氏名 \_\_\_\_\_ 電話・メール \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_